

平成 7 年 度

# 市内遺跡発掘調査報告書

1996. 3

前橋市教育委員会



## 例 言

1. 本報告書は、平成7年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内遺跡調査事業の概要をまとめてある。
2. 本事業にかかわる経費は、平成7年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助、県費補助及び市費により計上されている。
3. 本報告書では、平成6年度の報告書に未収録の平成7年2月から3月分と、平成7年度の23件の確認調査の概要を掲載する。
4. 確認調査及び個人専用住宅建設に伴う発掘調査（不二山古墳Ⅰ・Ⅱ）は前橋市教育委員会文化財保護課で実施した。  
調査 駒倉秀一、園部守央、井野誠一、伊藤 良、大山知久、飯島勝亥  
整理 井野誠一、大山知久
5. 発掘調査にかかわる記録類、出土遺物等は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
6. 文中のB軽石、B灰層は、天仁元年（1108年）浅間山噴出の軽石及び灰を意味する。さらに県内ではFA（6世紀初頭榛名山二ツ岳形成時噴出）、FP（6世紀中頃 同）、C軽石（4世紀中頃浅間山噴出）が指標とされている。

## 目 次

例 言

目 次

1. 確認調査一覧表	1
2. 確認調査位置図	2
3. 平成7年度調査の概要	2
4. 確認調査及び発掘調査の概要	3
5. 写真図版	17

# 1. 確認調査地一覧表 (No.29～37は平成6年度分)

[No.は申請順]

No	所在地	開発面積㎡	開発原因	調査日	調査概要
29	青梨子町字丑池1657外	7,958	老人保健施設	7・2・1	遺跡なし。奈良～平安時代の土器片出土。
30	元総社町2578-88外	2,068.39	障害者福祉作業所	7・2・9	古墳～平安時代の住居跡等を検出。古墳～平安時代の土器片等出土。平成7年度に発掘調査実施。(屋敷II遺跡)
31	鶴光路・亀里町地内	1,200	道路改修	7・2・16	遺物・遺構ともに検出されず。
32	江木町76	2,700	店舗	7・2・7	遺物・遺構ともに検出されず。
33	勝島町162-1外	1,867	ガソリンスタンド	7・2・22	古墳時代の住居跡等を検出。古墳時代の土器片等出土。協議中。(尼ヶ橋遺跡)
34	小相木町392-3外	1,280	マンション	7・2・20	遺物・遺構ともに検出されず。
35	総社町総社地内	6,790	教育施設	7・3・9、10	古墳～平安時代の住居跡及び溝跡を検出。古墳～平安時代の土器片等出土。協議中。(稻荷塚大道北遺跡)
36	上佐鳥町460-1	2,332.8	校舎新築	7・3・16	遺物・遺構ともに検出されず。
37	山王町77-5外	821.22	土砂崩壊防止擁壁	7・3・22、23	古墳の墳丘及び周堀を検出。埴輪片等出土。平成7年度に発掘調査実施。(文珠山古墳)
1	文京町一丁目259-1	330	個人専用住宅	7・4・27	古墳の墳丘・周堀を検出。埴輪片出土。個人専用住宅建設に伴う発掘調査実施。(不二山古墳I)
2	文京町三丁目149-2外	949	個人専用住宅	7・5・23、24	古墳の墳丘・周堀を検出。埴輪片出土。個人専用住宅建設に伴う発掘調査実施。(不二山古墳II)
3	元総社町弥勒1213-4	424	宅地造成	7・5・17	古墳～平安時代の住居跡及び土坑を検出。古墳～平安時代の土器片等出土。平成7年度に発掘調査実施。(弥勒遺跡II)
4	紅雲町二丁目151-2	242.69	店舗	7・5・25	遺物・遺構ともに検出されず。
5	青梨子町字金古境1734-5	330.61	ガソリンスタンド	7・6・7	遺物・遺構ともに検出されず。
6	小坂子町字下原1012-5	4,800	老人保健施設	7・7・6	遺物・遺構ともに検出されず。
7	大渡町一丁目3番2外	3,399	立体駐車場	7・8・1	古墳の墳丘構築時の地山及び墳丘・周堀を検出。土器・埴輪片等出土。協議中。(王山古墳)
8	亀里町1073番38外	7,076	荷さばき施設	7・8・4	遺物・遺構ともに検出されず。
9	朝倉町一丁目9-1外	1,785.61	宅地造成	7・9・19	古墳石室もしくは石柵墓と考えられる石組み遺構及び埴輪棺を検出。埴輪片等出土。協議中。(小旦那遺跡)
10	西善町723-1	1,346	ガソリンスタンド	7・10・12	遺物・遺構ともに検出されず。
11	上泉町1168-2	2,699	神社会館	7・10・26	遺物・遺構ともに検出されず。
12	嶺町1895-5	3,805	水道受水場	7・10・30	遺構なし。縄文時代の土器片出土。
13	前箱田町203-1外	4,000	道路改良	7・11・13	平安時代の水田跡を検出。協議中。(稻荷遺跡)
14	宮地町38-1外	14,757.5	道路改良	7・11・30、 12・1	平安時代の水田跡を検出。協議中。(宮地中田遺跡)
15	箱田町字西稻荷境1242-1外	999.58	宅地造成	7・11・9	遺物・遺構ともに検出されず。
16	元総社町字西川地内	960	土地改良	7・11・10	遺構なし。奈良時代の瓦片出土。
17	稻荷新田町366-2～7	1,307.18	建売分譲住宅	7・11・24	遺物・遺構ともに検出されず。
18	青梨子町字金古境1720-2外	8,909	道路築造	7・11・28	遺物・遺構ともに検出されず。
19	六供町地内	2,430	土地区画整理	7・12・7、8	平安時代の住居跡及び水田跡を検出。古墳～平安時代の土器片出土。平成7年度に発掘調査実施。(六供下堂木遺跡)
20	富田町2401-1外	50,248	農業構造改善事業	7・12・19、20	遺物・遺構ともに検出されず。
21	小屋原町1119-2外	69,158.52	学校	7・12・12	遺物・遺構ともに検出されず。
22	金丸町字金丸7-4	2,059	土取り	8・1・11	遺物・遺構ともに検出されず。
23	上細井町233外	4,700	事務所	8・1・24	遺物・遺構ともに検出されず。

## 2. 平成7年度調査地位置図

(①～⑳)は7年度

(㉑～㉿)は6年度



## 3. 平成7年度調査の概要

平成7年度の確認調査件数は6年の37件にくらべ、大幅に減少し、23件となった。調査地は6年度と同じく、前橋市西部の元総社地区や南部の東地区や下川淵地区に多くみられた。

平成6年度分では、元総社の屋敷Ⅱ遺跡、山王町の文珠山古墳が平成7年度に発掘調査実施になった。櫛島町の尼ヶ橋遺跡と総社町の稲荷塚大道北遺跡は現状保存について協議中である。

平成7年度では文京町の不二山古墳で、個人専用住宅建設に伴い発掘調査が行なわれ、周堀が確認された。元総社町の弥勒遺跡Ⅱと六供下堂木遺跡では発掘調査が行なわれ、朝倉町の小旦那遺跡と前箱田町の稲荷遺跡、宮地町の宮地中田遺跡では現状保存について協議中である。大渡町の王山古墳では墳丘は現状保存について協議書を締結した。

## 4. 確認調査の概要 (29～37は平成6年度、1～23は平成7年度)

### (1) 平成6年度

#### 29 青梨子町字丑池1657外

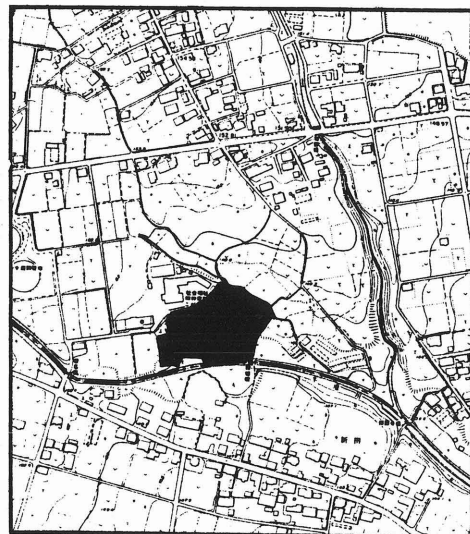
7,958㎡ (うち試掘対象面積722㎡) 老人保健施設

平成7年2月1日

##### 調査の状況

開発予定地は、青梨子金古境遺跡の南東250mに位置している。開発予定地の西側隣接地で平成3年度に試掘調査を実施した結果、遺構は検出されなかった。が、開発予定地において、平成6年12月26日の表面調査で遺物の散布が見られたことから、今回の試掘調査の実施となった。

重機による掘り下げ後、断面精査・下面清掃を行った結果、地表下約55cmまでは現耕作土と変わらない黒褐色土層であり、その下には非常に締まりのある明黄褐色硬質土層が見られた。このことから、後世の土地改良等によって既に削平を受けていたことが確認された。また、遺物は若干見られたが、住居跡等の遺構は検出されなかった。



#### 30 元総社町2578-88

2,068.39㎡ 障害者福祉作業所

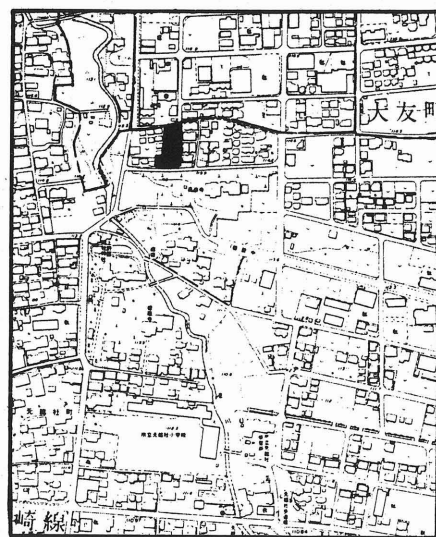
平成7年2月9日

##### 調査の状況

開発予定地は、元総社明神遺跡の隣接地に当たり、遺物の散布も見られ、遺跡地であることが認められたため状況確認の試掘調査を行った。

試掘調査の結果、古墳時代から平安時代にかけての住居跡が検出された。現状保存についての協議が行われたが、現状保存は困難であるとの結論になり、平成7年度に記録保存のための発掘調査(屋敷Ⅱ遺跡)が行われた。

発掘調査の結果、古墳時代から平安時代にかけての住居跡27軒その他の遺構と遺物がテン箱11箱検出された。



#### 31 鶴光路・亀里町地内

1,200㎡ 道路改修工事

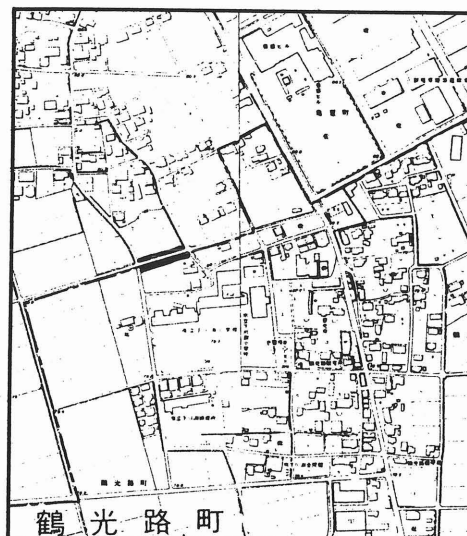
平成7年2月16日

##### 調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の条里水田想定地域内に当たり、南の旧集落内からは住居跡関連と考えられる遺物が検出されている。水田もしくは住居跡の存在が考えられたため確認調査を実施した。

確認調査の結果、開発予定地は耕作で深く掘削がなされており、遺構・遺物は検出されなかった。指標となる軽石層も一部しか検出されなかった。

仮に水田が存在したとしても、耕作で掘削されたものと考えられる。



### 32 江木町76

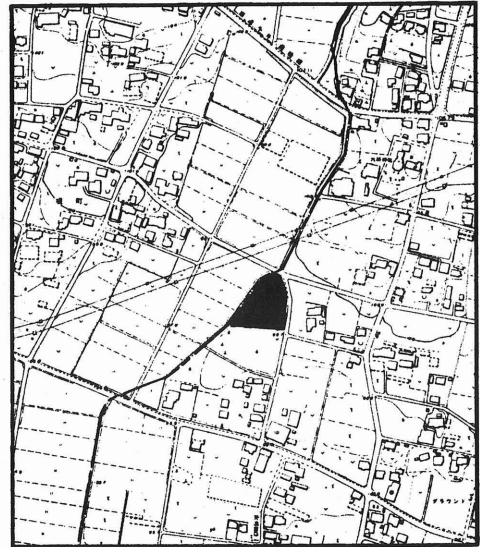
2,700㎡ 店舗

平成7年2月7日

#### 調査の状況

開発予定地は、数多くの遺跡地が確認されている赤城山南斜面状の舌状台地に位置し、周辺にも発掘調査された古墳や住居跡が存在しているため、試掘調査を実施した。

建物建設予定地にトレンチを設定して、重機による掘り下げ後、断面精査・下面清掃を行った。その結果、既存の建物等による攪乱が至る所で見られたものの、遺構・遺物は検出されなかった。



### 33 礪島町162-1外

1,867㎡ ガソリンスタンド

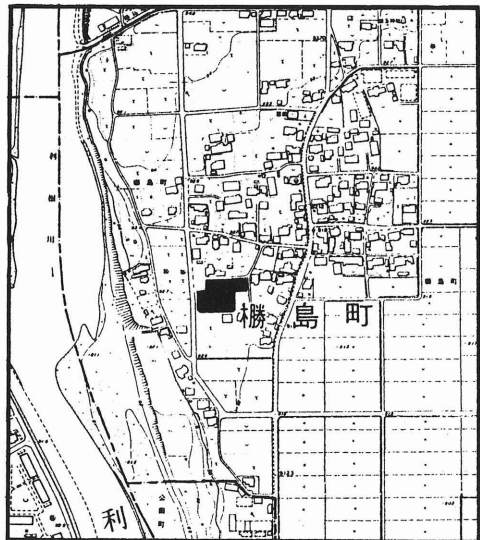
平成7年2月22日

#### 調査の状況

開発予定地は、平成4年度に発掘調査された礪島川端遺跡（古墳時代の集落跡）の東隣に位置しているため、試掘調査を実施した。

開発予定地にトレンチを4条設定して重機による掘り下げ後、断面精査・下面清掃を行った結果、ほぼ全域にわたって、多数の遺物の出土に伴い、古墳時代の住居跡が幾重にも重複して検出された。（尼ヶ橋遺跡）

現在、本遺跡の取り扱いについて協議中。



### 34 小相木町392-3外

1,280㎡ マンション

平成7年2月20日

#### 調査の状況

開発予定地は、周囲において五反田遺跡、村前遺跡等の平安時代の水田跡が数多く確認されているため、試掘調査を実施した。

調査は、建物建設予定部分にトレンチを設定して、重機による深掘後、土層観察を行った。盛土層の下には、B軽石を50%前後含む層が見られたが、B軽石の純層は確認されなかった。さらにその下にはF Aを含む黒灰色土層、C軽石を含む茶灰色土層が見られたため、C軽石を含む層まで掘り下げを行った。掘削後、断面精査を行ったが、断面からは平安時代の水田跡と考えられる畦畔の高まりは確認されなかった。また、下面清掃を実施したが、古墳時代の住居跡も検出されなかった。



37 山王町77-5外

821.22㎡ 土砂崩壊防止擁壁工事

平成7年3月22・23日

調査の状況

開発予定地は、文珠山古墳の西側から南側の墳丘部分もしくは周掘部分にあたるため、試掘調査を実施した。

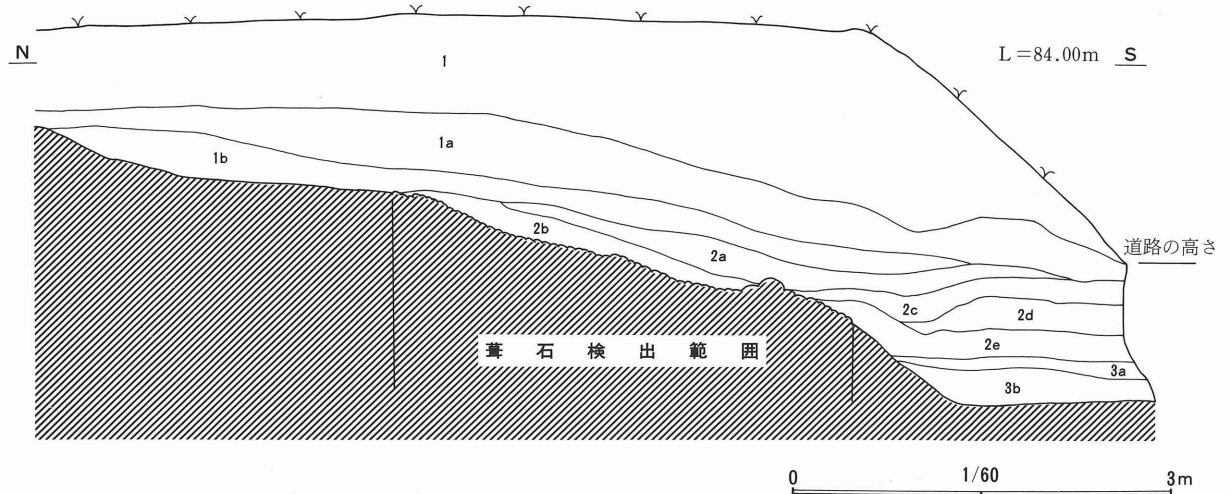
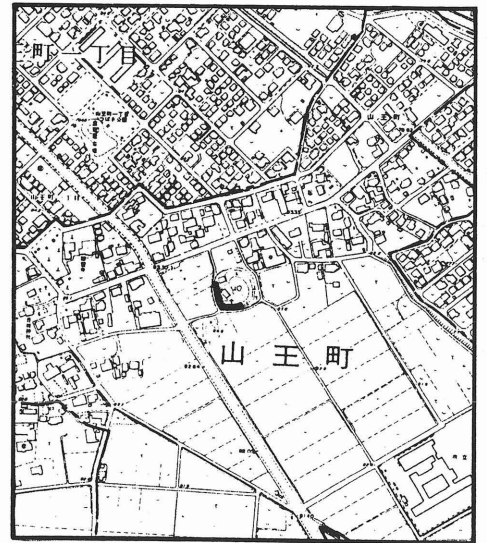
調査は、擁壁工事予定地範囲にトレンチを3条（北側から1・2・3トレンチと呼称する）設定して行った。

1トレンチでは、西側の道路境付近まで古墳の墳丘に施工した葦石が検出され、葦石の上面はほぼ道路の高さと同レベルであった。

2トレンチにおいても道路側付近で葦石が検出された。その確認面は道路の高さから16cm程下であった。

3トレンチでは、古墳の墳丘部分と周掘の一部（墳丘側の周掘の下端）が検出された。墳丘部分では、拳大から人頭大の河原石を用いた葦石が施工されていた。特に大きめの人頭大の河原石は、傾斜角度が変わる墳丘の末端付近を中心に検出された。また、周掘の覆土からはFAと思われる火山灰層も確認された。なお、3トレンチで検出された周掘の下端は、道路との境界より1.6m、道路の高さから1.1mの深さであった。

本遺跡の取り扱いについて協議した結果、現状保存は困難とのことで、開発に伴い掘削が考えられる古墳の西側については、平成7年5月16日～22日までの発掘調査を実施した。また、古墳の南側については、開発範囲の掘削の深さが道路のレベル下50cmで、遺構面から30cm以上の厚さが確保でき、現状保存が可能であるため、工事立ち会いとした。

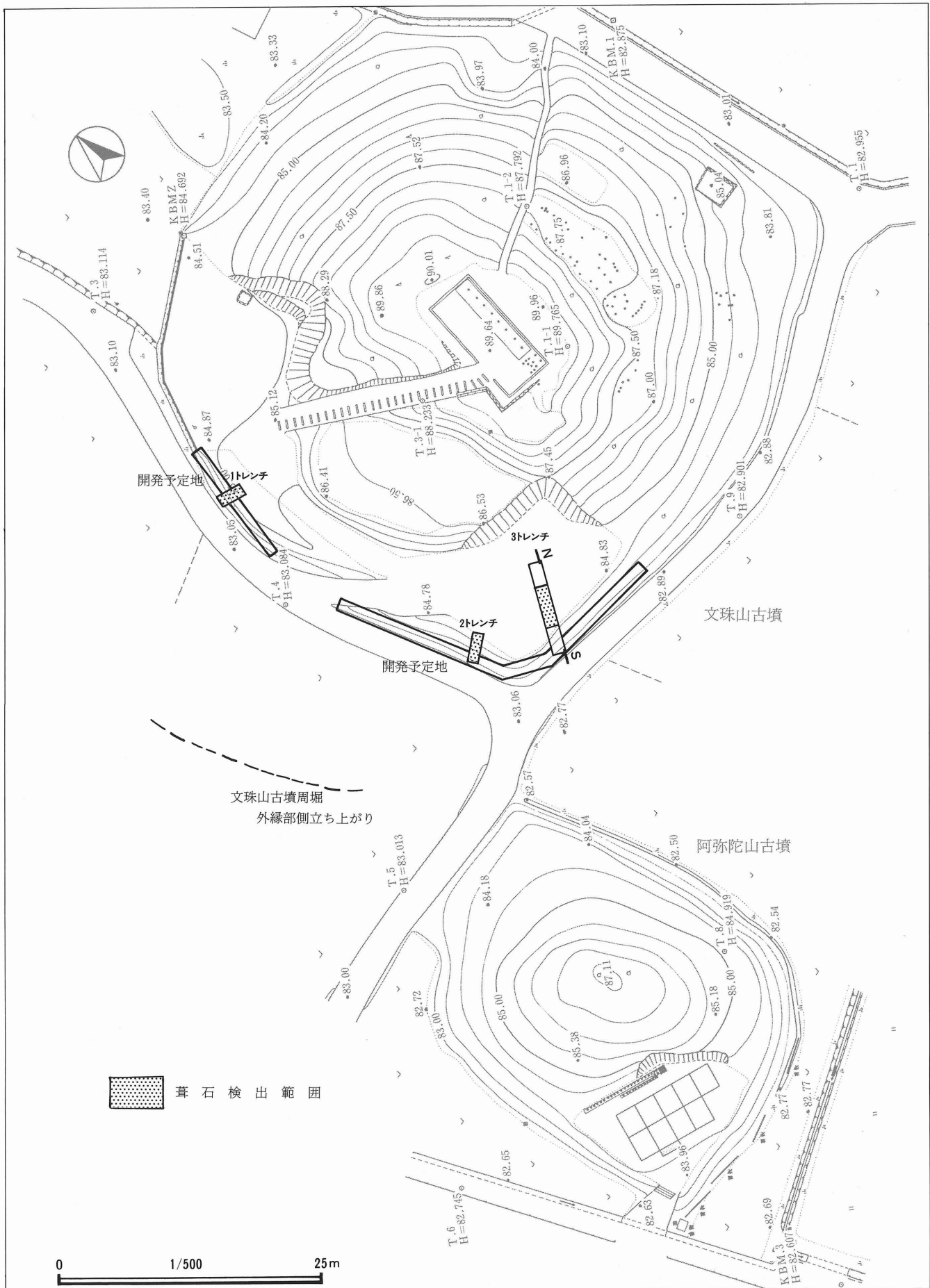


文珠山古墳 3トレンチ層序説明

- |       |        |                     |       |        |               |
|-------|--------|---------------------|-------|--------|---------------|
| 1 層   | 黄褐色粗砂層 | 葦石と思われる河原石・黒色土等を含む。 | 2 c 層 | 黄灰色細砂層 |               |
| 1 a 層 | 黄灰色粗砂層 |                     | 2 d 層 | 灰黄色細砂層 |               |
| 1 b 層 | 黒褐色粗砂層 |                     | 2 e 層 | 黒色微砂層  | B 軽石が少量混じる。   |
| 2 a 層 | 黒褐色粗砂層 |                     | 3 a 層 | 黒橙色微砂層 | FA がブロック状に入る。 |
| 2 b 層 | 黒色粗砂層  | B 軽石を50%前後含む。       | 3 b 層 | 黒色粗砂層  |               |

文珠山古墳 3トレンチ セクション図





文珠山古墳・阿弥陀山古墳現況図

### 35 総社町総社地内

6,790㎡ 教育施設造成

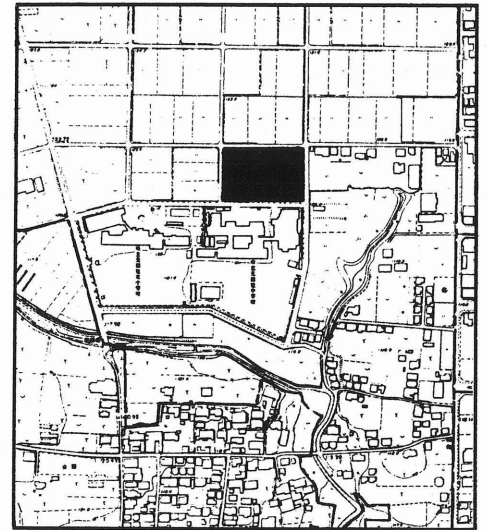
平成7年3月9・10日

#### 調査の状況

開発予定地は、山王廃寺の南に位置し、山王廃寺を含む遺跡の南端に当たる北の水田地帯は現在耕地整理が行われ、きちんとした区画が作られているが、大正時代に行われた耕地整理以前の旧地形には高低があり、西側が高く住居跡が認められる。

開発予定地はすでに盛り土がなされ、表面の遺物の散布状況は不明であったが、確認調査の結果開発予定地全域で古墳時代から平安時代にかけての住居跡が検出された。

遺跡の保存については現在現状保存の方向で協議中である。



### 36 上佐鳥町460-1

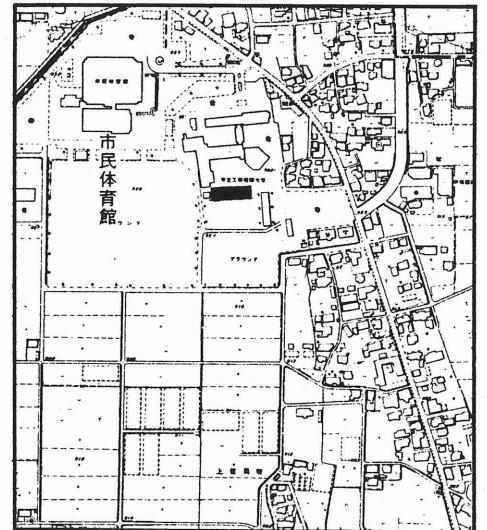
2,332.8㎡ 校舎新築

平成7年3月16日

#### 調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の条里水田想定地域に当たり、平安時代の水田が想定される地区にあたる。すでに校庭として造成・盛り土がなされているが、水田検出が想定されたため、確認調査を実施した。

確認調査の結果、開発予定地が過去の工事（旧建物と考えられる）により掘削がなされており、遺物・遺構ともに検出されなかった。指標となる軽石層も認められなかった。



## (2) 平成7年度

### 1 文京町三丁目152-2

330㎡ 個人専用住宅（不二山古墳Ⅰ）

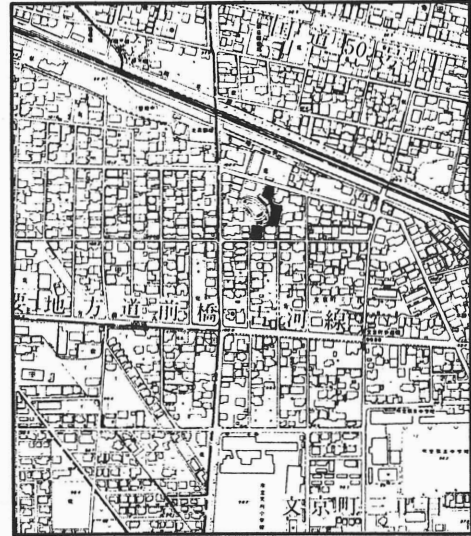
平成7年4月27日

#### 調査の状況

開発予定地は、文京町三丁目に所在する不二山古墳の周堀想定地に当たる。土地所有者より、個人専用住宅建設に伴う発掘調査の依頼が提出され、前橋市教育委員会で発掘調査を実施することになった。

開発予定地中央にトレンチを設定し、周堀の状況の調査を行った。

事前の想定では、開発予定地内に周堀が検出されるはずであったが、発掘調査の結果周堀から古墳墳丘への立ち上がりは検出されたが、周堀とみられる土層は検出されなかった。不二山古墳Ⅱ遺跡の調査結果でも、周堀は非常に浅く、周辺での開発・造成に伴って削平されたものとみられる。



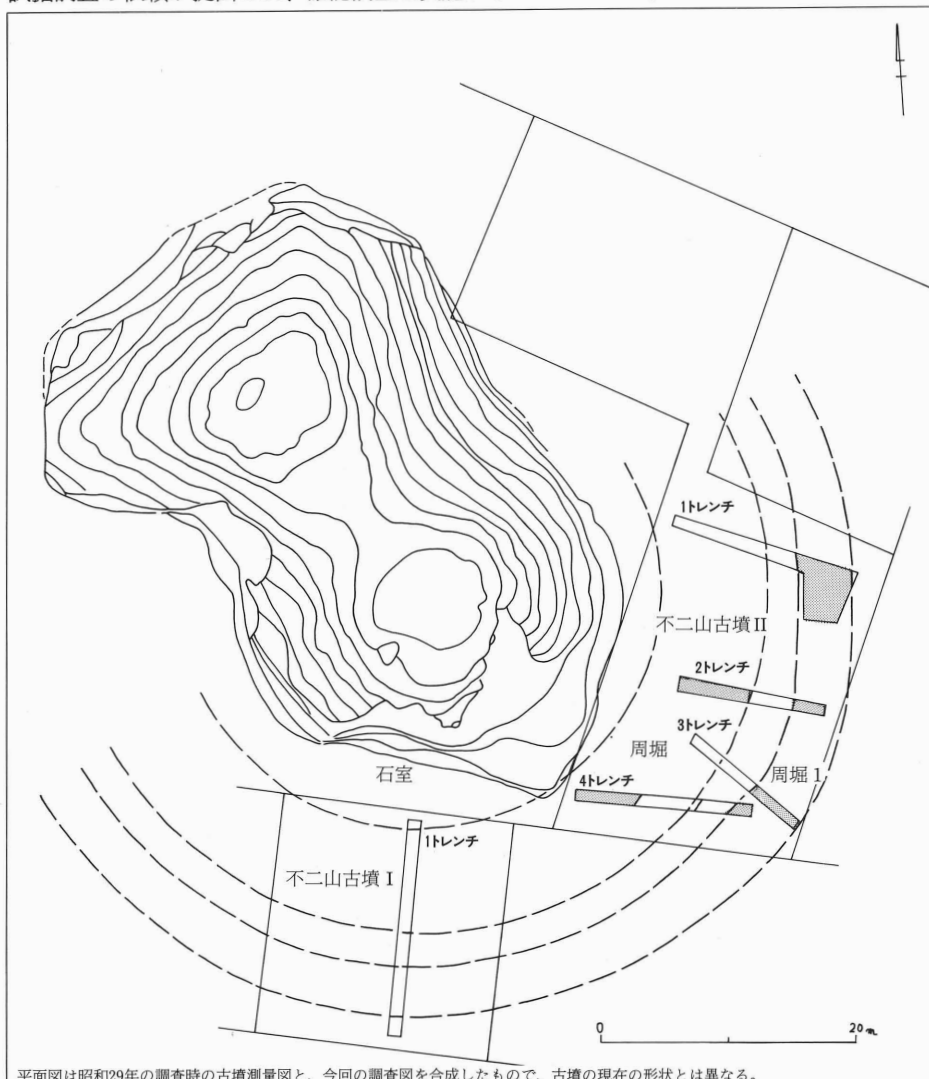
### 2 文京町三丁目149-2、150-4

949㎡ 個人専用住宅（不二山古墳Ⅱ）

平成7年5月23、24日

#### 調査の状況

開発予定地は、不二山古墳Ⅰの北東に位置し、不二山古墳の周堀想定地内にあたる。土地所有者より個人専用住宅建設に伴う試掘調査の依頼が提出され、確認調査を実施することとなった。



確認調査の結果、古墳周堀を確認した。4本のトレンチでの周堀の土層の検出状況はまちまちである。

1トレンチでは、東側に幅4m、深さ20cmで上面にBの灰層をもつ黒色土層が認められた。西側ではこの層の下の層まで耕作土になっていた。

2トレンチでは、西側に上面にB軽石層を持つ黒色土が認められた。現状で幅4.5m、深さ20cm。西端は中途まで立ち上がりは未掘。

3トレンチでは、東にB軽石を主とする黒色土層が検出された。深さ20cm、上面にB灰層が認められた。上層に深さ20cmの黒色土層を持つ。この上は耕作土層。西側は、地山層まで耕作土が占めていた。

4トレンチでは、西側に砂質の黒色土が認められた。現状で幅5m、深さ30cm。東側はB軽石を主とする黒色土が認められた。深さ10cm。

この調査の結果から、図にあるような二重の周堀が想定される。

なお、検出された遺構については、工事实施に際して現状保存が可能な方向で施工されることになった。

平面図は昭和29年の調査時の古墳測量図と、今回の調査図を合成したもので、古墳の現在の形状とは異なる。

不二山古墳

### 3 元総社町弥勒1213-4

424㎡ 宅地造成（道路予定地）

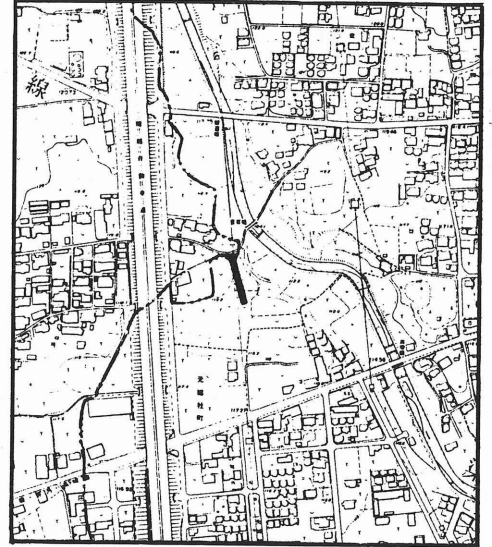
平成7年5月17日

#### 調査の状況

開発予定地は、平成元年度に発掘された弥勒遺跡（古墳～平安時代の住居跡等）に隣接しているため、幅6mの道路予定地の中央にトレンチを設定して試掘調査を実施した。

調査の結果、北側から中央付近までは染谷川により削られた所であり、遺構は確認されなかった。しかし、南側では土器片等が出土するとともに弥勒遺跡の続きと考えられる古墳～平安時代の住居跡等が検出された。（弥勒遺跡II）

本遺跡の取り扱いについて協議した結果、現状保存は困難とのことで、開発に先立ち平成7年5月30日～6月2日に発掘調査を実施した。その結果、古墳時代後期の住居跡3軒、平安時代の住居跡1軒外が検出された。



### 4 紅雲町二丁目151-2

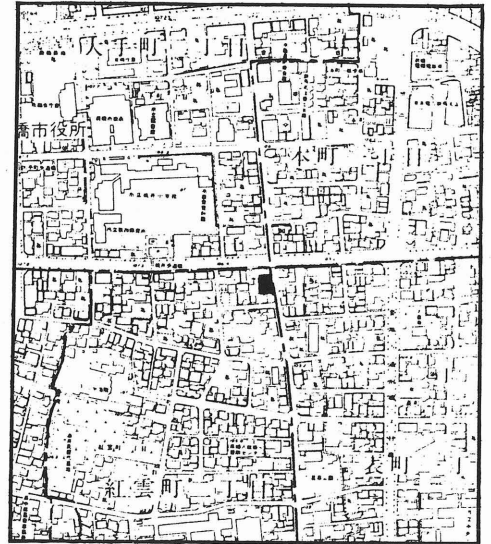
242.69㎡ 店舗

平成7年5月25日

#### 調査の状況

開発予定地は、文献等の記録や旧地割りから前橋城の南北に延びる堀跡と考えられるため、試掘調査を実施した。

掘削機械の届く最大の深さである約3mまで掘り下げを行い調査をした結果、以前池であったことを示す泥層とそれを埋めた際に用いられた旧群馬県庁舎に使用されていたと思われたレンガ等が確認された。しかし、前橋城の堀跡の東西の端および底面を検出することはできなかった。



### 5 青梨子町字金古境1734-5

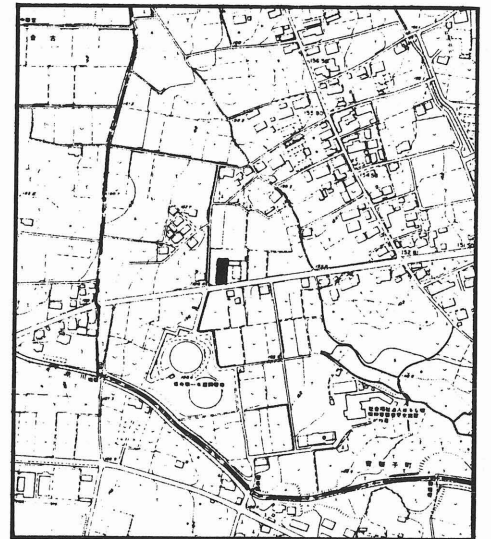
330.61㎡ ガソリンスタンド拡張

平成7年6月7日

#### 調査の状況

開発予定地は、平成5年度に発掘調査された青梨子金古境遺跡（奈良～平安時代の住居跡等）の北側100mに位置しているため、建物建築箇所にトレンチを設定して試掘調査を実施した。

その結果、約30cmの耕作土の下には極めて粘性の強い砂層（過去の調査結果より遺物を含まない層）が認められた。また、トレンチ内において断面観察・下面精査を行ったが、遺物・遺構は検出されなかった。



## 6 小坂子町字下原1012-5

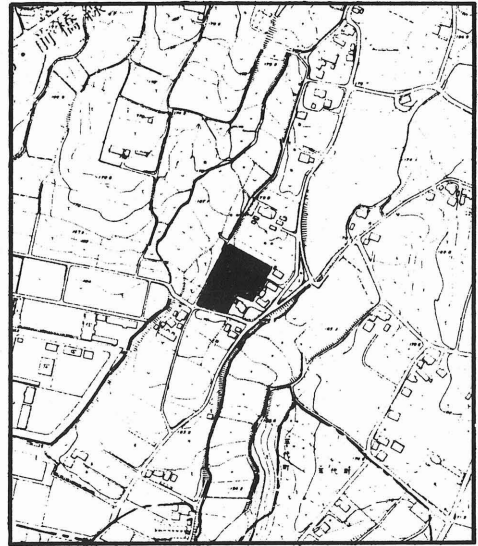
4,800m<sup>2</sup> 老人保健施設

平成7年7月6日

### 調査の状況

開発予定地は、芳賀東部団地遺跡（縄文時代～中世の遺構が多数検出）の谷を挟んだ北東側に位置しているため、試掘調査を実施した。調査は建物建設箇所および斜面であるため掘削される部分・調整池部分にトレンチを2条設定して行った。

約25cmの耕作土の下にはソフトローム層（厚さ約35cm）、ハードローム層の堆積が見られた。遺構確認をソフトローム層において行い、下面清掃・断面精査を実施したが、遺構は検出されなかった。



## 8 亀里町1078番外

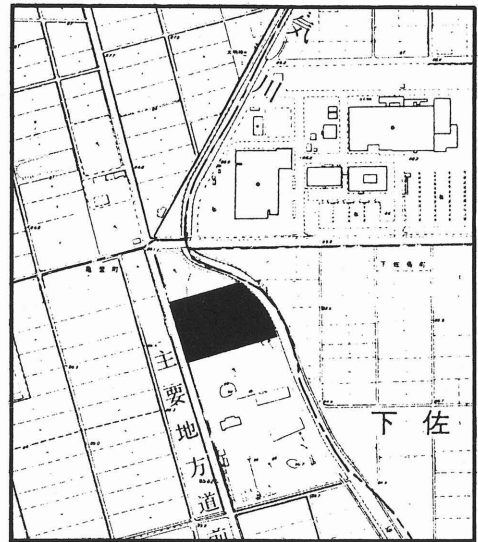
7,076m<sup>2</sup> 荷さばき施設

平成7年8月4日

### 調査の状況

開発予定地は、端気川の河川改修に伴い発掘調査を実施した下佐鳥遺跡の西側に位置している。また、周囲には宿阿内城遺跡、川曲遺跡が確認されているため、建物予定箇所にトレンチを2条設定して試掘調査を実施した。

その結果、東側で土層観察を行うと、地表下約2mまで礫やコンクリートの塊が多く見られ、その下には極めて粘性の強い砂層（過去の調査結果より遺物を含まない層）が認められた。また、西側のトレンチでは地表より約1.2m下から以前の建物のコンクリートの基礎部分が見られた。これらのことから、開発予定地に遺構の存在する可能性は低いと思われる。



## 9 朝倉町一丁目9-1外

1,785.61m<sup>2</sup> 宅地造成

平成7年9月19日

### 調査の状況

開発予定地は、朝倉・広瀬古墳群に位置し、周囲にも数多くの古墳が確認されている。現在は天川二子山古墳など数基を残すのみとなっているが、以前には200基近い古墳が造られた場所である。また、開発予定地では埴輪片が見つかったため、試掘調査を実施した。

調査は、開発予定地内の既存建物や耕作地以外の場所にトレンチを設定して行った。その結果、約40cmの耕作土の下から埴輪棺および古墳の小石室もしくは石槨墓と考えられる石組み遺構が検出された。（小旦那遺跡）

その後、開発者側と遺跡の現状保存について協議を重ね合意した。なお、開発行為着手の際には工事立会とした。



## 7 大渡町一丁目3番2、3、4、5

3,399m<sup>2</sup> 立体駐車場

平成7年2月9日

### 調査の状況

開発予定地は、市指定史跡の王山古墳の東に位置し、王山古墳の周堀及び墳丘の検出される可能性があった。そこで、事前に確認調査を実施して状況を確認することになった。

確認調査の結果、王山古墳の墳丘及び東の溝と墳丘下の古墳築造以前の畑と東に位置していた古墳の周堀と考えられる遺構を検出した。

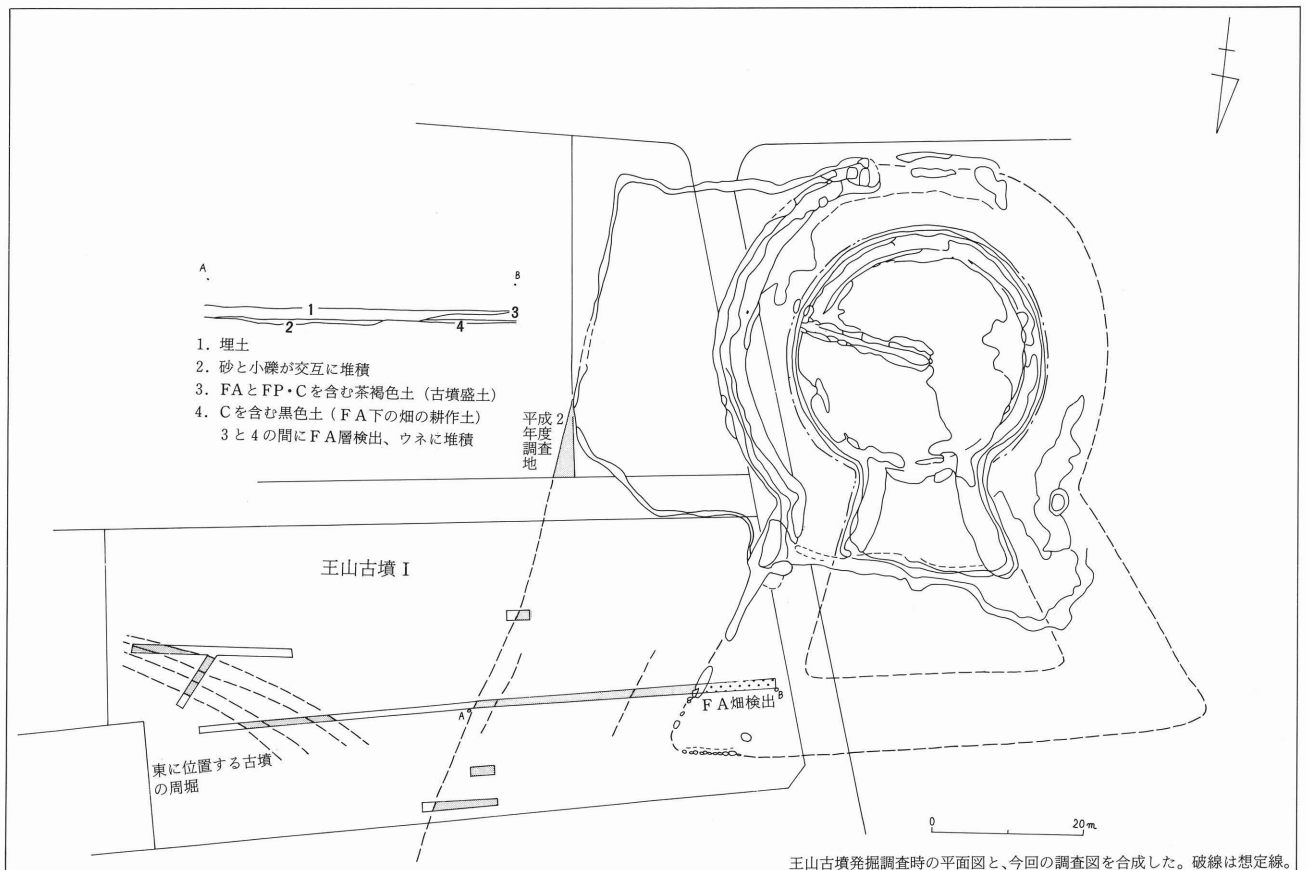
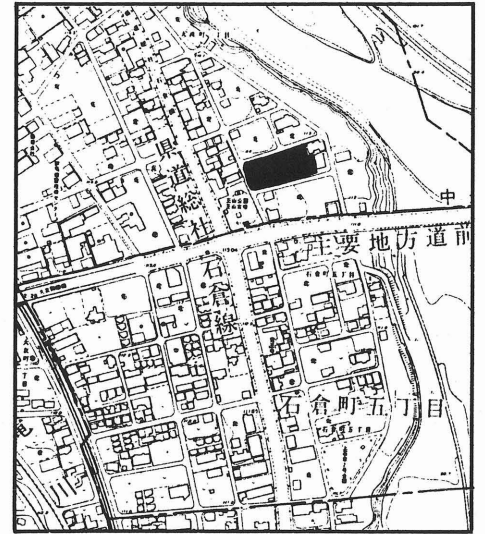
協議の結果、王山古墳の墳丘については検出地区が簡易舗装の駐車場であり、現状保存が可能であり、保存協議書を締結して保存することになった。

東の古墳の周堀については、平成7年度に発掘調査を実施した。(王山古墳 I)

現状保存となった王山古墳の墳丘については、調査の結果前方部墳丘下に地山として古墳構築以前のFAで埋もれた畑のあったことが認められた。また、前方部の古墳盛り土中にFPがふくまれていることは、前方部の築造が後円部の築造にかなり遅れていることが考えられる。後円部は6C初めて、前方部は6C半ば以降につけ加えられたものと考えられる。

また、古墳東に検出された溝については、最下層に砂層と小礫層の互層が認められ、かなりの流水のあったことが考えられる。溝の東の走行に屈曲のある点と合わせて、古墳の周堀とするには疑問が残る。

溝内に時代を特定できる遺物及び軽石層は検出されていない。新しい時期の溝と考えることも可能である。



王山古墳発掘調査時の平面図と、今回の調査図を合成した。破線は想定線。

## 王 山 古 墳

## 10 西善町723-1

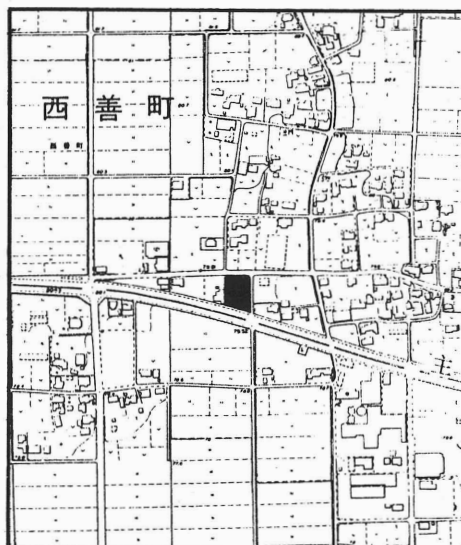
1,346㎡ ガソリンスタンド

平成7年10月12日

### 調査の状況

開発予定地は、天神遺跡の東方100mに位置しているため、開発に伴い掘削される箇所にトレンチを設定して、試掘調査を実施した。

その結果、約1.2mの盛土の下より、盛土以前の耕作土層、B軽石層(部分的に堆積)、灰褐色微砂層が見られた。平安時代の水田面を想定して精査を行ったが、水田の畦畔が確認されなかったこと、B軽石が部分的にしか見られなかったことから、水田遺構の存在する可能性は低いと思われる。さらに、過去の調査結果から、その下の粘性の強い灰褐色微砂層に遺構の存在する可能性も低いと考えられる。



## 11 上泉町1168-2

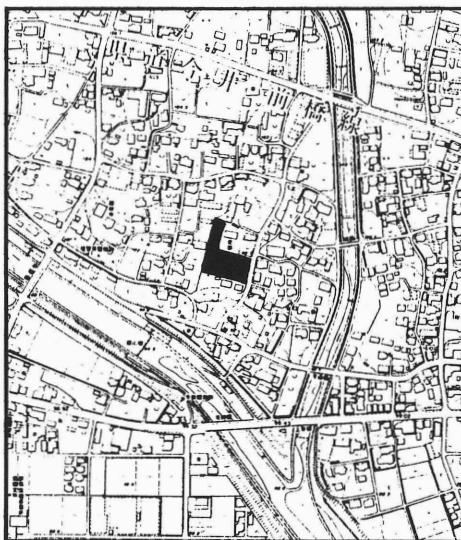
2,699㎡ 諏訪神社会館

平成7年10月26日

### 調査の状況

開発予定地は、上泉城跡の本丸に位置し、県指定重要文化財となっている上泉郷倉の南にあたるため、試掘調査を実施した。

調査は、建物予定箇所にトレンチを設定し、重機による掘り下げ、下面清掃・断面精査を行った。その結果、耕作土の下に川砂層と小石混じりの砂利層が見られ、旧利根川の流路であることが確認されたが、上泉城に係わる遺構およびそれ以前の時期の遺構は検出されなかった。



## 12 嶺町1895-5外

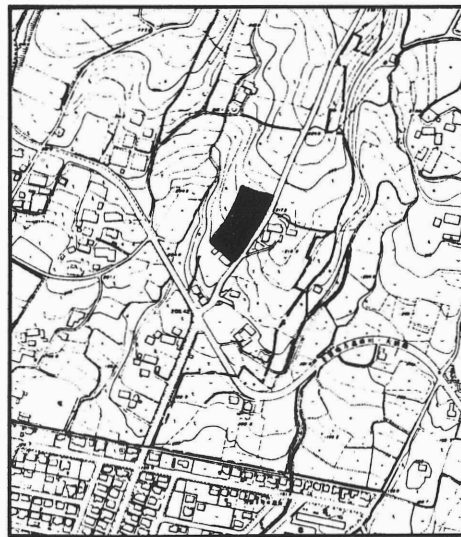
3,805㎡ 県央第二水道受水場

平成7年10月30日

### 調査の状況

開発予定地は、芳賀北部団地遺跡の北に位置し、縄文土器の散布が見られる。北西には縄文時代の住居跡及び土坑を検出した入替戸十二原遺跡(保存)が所在する。

確認調査の結果、縄文時代の土器片は検出されたものの遺構は検出されなかった。開墾造成の際に掘削が及ぼされたと思われる盛り土と見られる耕作土の下はローム層が検出された。



### 13 前箱田町203-1他

4,000㎡ 道路改良工事

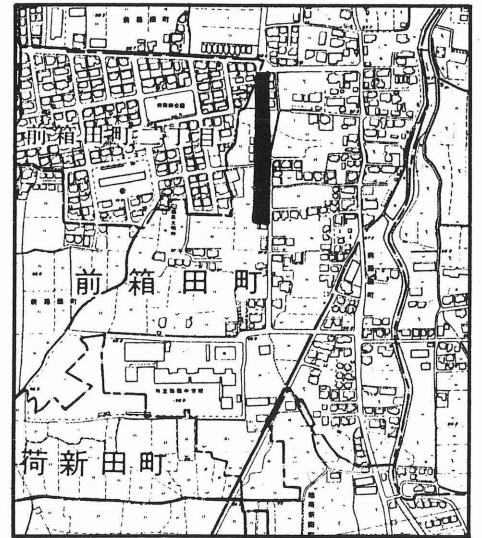
平成7年11月13日 (稻荷遺跡)

#### 調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の条里水田地帯に位置する。南の箱田中建設に際してはB軽石下の水田が検出されている。(村前遺跡)

また、今回の開発予定地の南はB軽石が検出されており(稻荷遺跡)、今回の開発予定地も稻荷遺跡の条里水田の範囲内と考えられたので、確認調査を実施した。

確認調査の結果開発予定地全域からB軽石下の水田が検出された。現在保存協議中である。



### 14 宮地町38-1

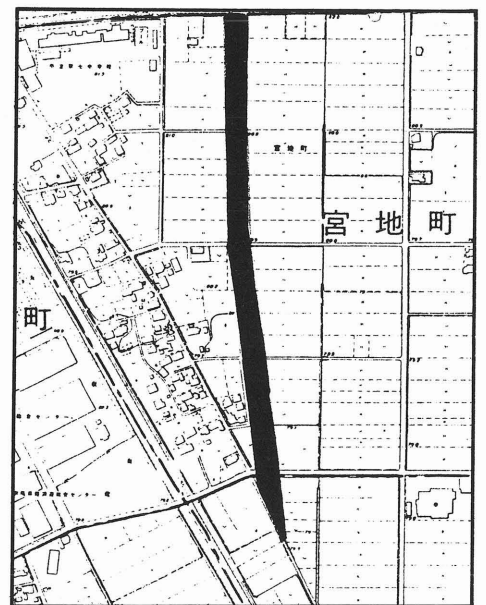
14,757.5㎡ 道路改良工事

平成7年11月30日、12月1日 (宮地中田遺跡)

#### 調査の状況

開発予定地は、前橋市南部の条里水田想定地内にある。開発地北の東田遺跡からは4世紀の住居跡と土器片が検出されている。また、周辺での確認調査では遺跡にはならなかったものの、広くB軽石層が確認されている。

確認調査の結果、開発予定地のほぼ南半分はB軽石下の水田が検出された。北半分は、以前の耕地整理での工事により削平されたものと考えられる。現在保存について協議中。



### 15 箱田町字西稻荷境1242-1外

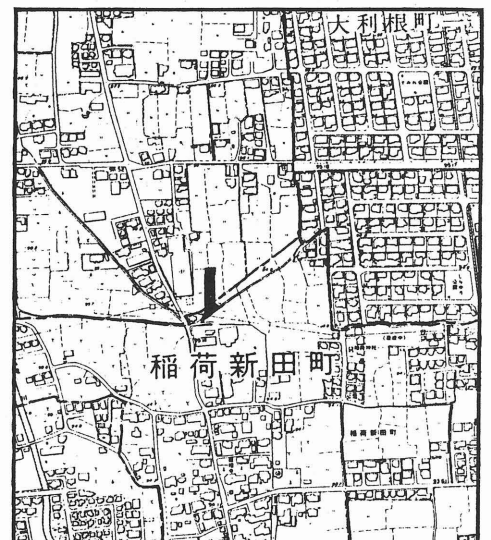
999.58㎡ 宅地造成

平成7年11月9日

#### 調査の状況

開発予定地は、周囲において前箱田遺跡をはじめとする遺跡地(平安時代の水田跡)が数多く確認されているため、試掘調査を実施した。

重機による掘り下げ後の土層観察では耕作土の下より、B軽石層、灰褐色微砂層が見られた。平安時代の水田跡を想定してB軽石層下にて下面精査を行ったが、畦畔および遺物は検出されなかった。また、過去の調査事例より灰褐色微砂層の遺構の存在する可能性は低いと考えられる。





## 16 元総社町字西川地内

960㎡ 土地改良事業

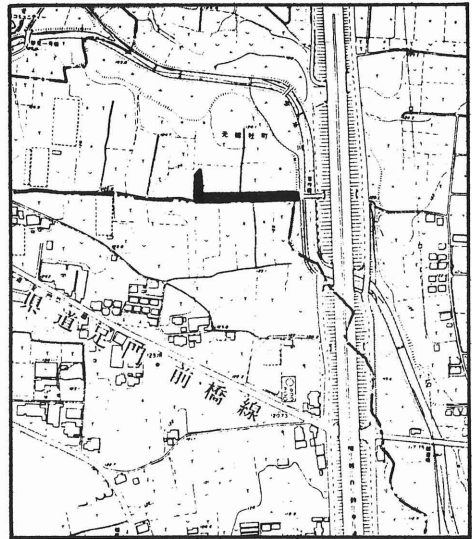
平成7年11月10日

### 調査の状況

開発予定地は、前橋市西部に位置し、染谷川の右岸に位置している。上野国分寺は染谷川の北に位置している。本開発地の周辺は上野国分寺の参道が東山道に向かう地区であると言われている。参道と考えられている南北に長い地割も残るが、過去の確認調査では住居跡や溝などは確認されたが、参道とは確認されていない。(上野国分寺参道遺跡)

本開発予定地は上野国分寺参道遺跡に含まれていると考えられ、土器片の散布が認められたため確認調査を実施した。

確認調査の結果、本開発予定地では土器片及び瓦片は検出されたものの遺構は確認されなかった。



## 17 稲荷新田町366-2~7

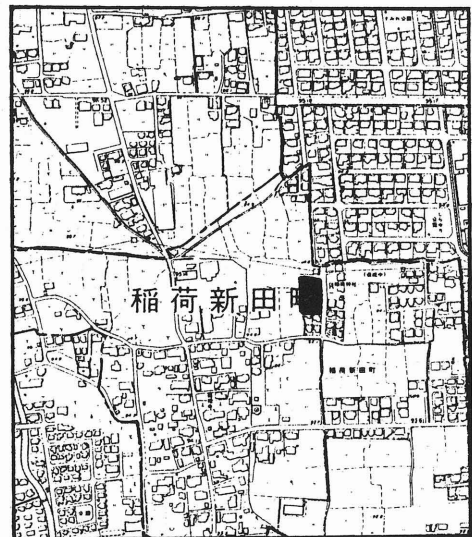
1,307.18㎡ 建売分譲住宅

平成7年11月24日

### 調査の状況

開発予定地は、周辺において柳橋遺跡・前箱田遺跡等の平安時代の水田跡が数多く確認されているため、試掘調査を実施した。

重機による掘りげ後の土層観察では40cmの盛土の下より以前の耕作土層、B軽石層、灰褐色微砂層が見られた。平安時代の水田跡を考え、B軽石層の下において下面精査を行ったが、畦畔および遺物は検出されなかった。さらに、過去の調査事例を考慮すると、灰褐色微砂層に遺構の存在する可能性は低いと考えられる。



## 18 青梨子町金古境1,720-2外

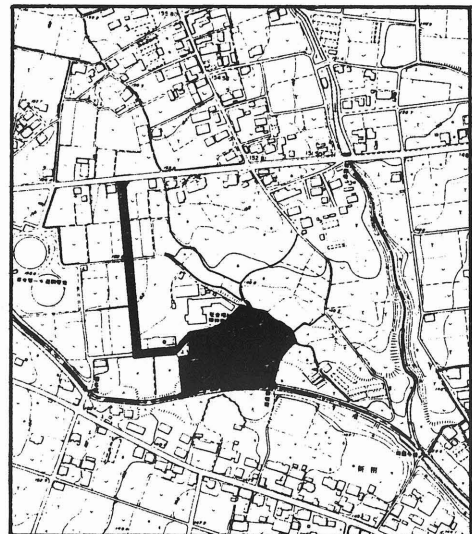
8,909㎡ 道路築造工事

平成7年11月28日

### 調査の状況

開発予定地は、青梨子金古境遺跡の東側50m、熊野谷遺跡の南西側500mに位置しているため、試掘調査を実施した。

調査は、道路拡幅部分にトレンチを設定して重機による掘り下げを行った。トレンチ北側で土層観察を行うと、耕作土、B軽石(部分的に堆積)、暗灰褐色細砂層、C軽石を含む黒色粗砂層(部分的に堆積)、暗褐色微砂層が見られた。下面清掃・断面精査を行ったが、遺構および遺物は検出されなかった。



## 19 六供町地内

2,430㎡ 土地区画整理事業（六供下堂木遺跡）

平成7年12月8日

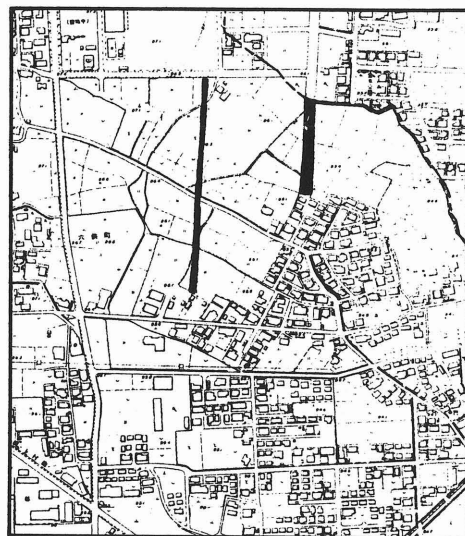
### 調査の状況

本開発予定地は、前橋市市街地のすぐ南に接し、西に建設中の前橋・長瀬線の発掘調査では住居跡及び水田・周溝墓等が検出されている。

本開発予定地は字名を下堂木といい、旧集落の所在地であり土器の散布地である。住居跡の検出の可能性があり確認調査を実施した。

確認調査の結果、住居跡及び水田跡を検出した。

遺跡の現状保存について協議を実施したが、現状保存が困難であるとのことで、平成7年度に発掘調査を実施し記録保存を図った。（六供下堂木遺跡）



## 20 富田町2401-1他

50,248㎡ 宅地造成

平成7年12月19日、20日

### 調査の状況

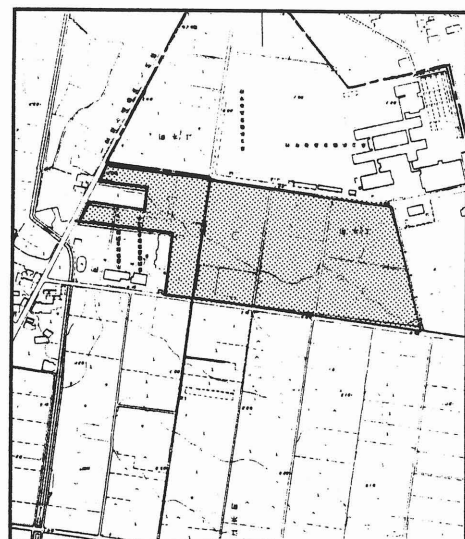
本開発予定地は、赤城山南麓の南への緩傾斜の地に位置し、東西を河川によって浸食された南北に長い丘状の地形になっている。

本開発地の東には、木舟遺跡（現状保存）と宮田遺跡が位置している。木舟遺跡の範囲内と考えられたため確認調査を実施した。

開発予定地内で建物及び掘削の予定地に確認調査を実施した。

確認調査の結果、確認調査の範囲内で遺構は確認されなかった。

土層の状況からみると、低湿地であったところを開墾により盛り土をして畑とした地区と考えられる。



## 21 小屋原町1119-2外

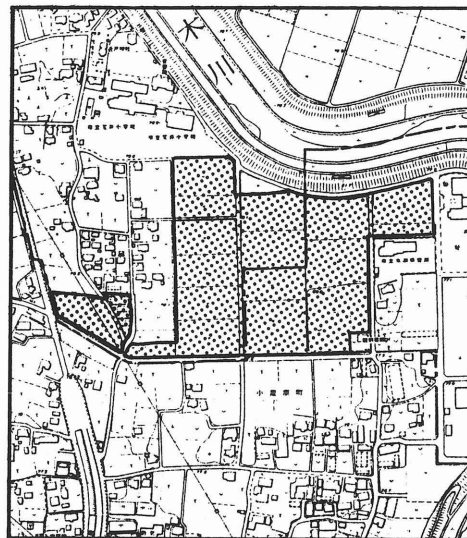
69,158.52㎡ 学校建設

平成7年12月12日

### 調査の状況

開発予定地は、中原遺跡群（9世紀初頭の水田跡等）の西側約300mに位置しているため、試掘調査を実施した。

調査は、開発に伴い掘削が予定されている箇所（建物部分・道路部分）にトレンチを設定して重機による掘り下げを行った。その結果、トレンチ全面において、耕作土の下には何層にも重なる川砂層、河原石を含む川砂利層の堆積が見られ、旧利根川の流路であったことが確認された。下面清掃・断面精査を行ったが、遺構および遺物は検出されなかった。



## 22 金丸町7-4

2,059㎡ 土採集

平成8年1月11日

### 調査の状況

開発予定地は、赤城山南麓に位置し、周囲の町村では縄文時代の遺跡が確認されていること、開発行為（土採集）によって現地表面から1～2m削られてしまうことから試掘調査を実施した。

調査は、開発予定地の中央部にトレンチを設定して重機による掘り下げを行った。耕作土の下にはソフトローム層（厚さ約45cm）、ハードローム層の堆積が見られた。遺構確認をソフトローム層下部において行い、下面清掃・断面精査を実施したが、遺構および遺物は検出されなかった。



## 23 上細井町233外

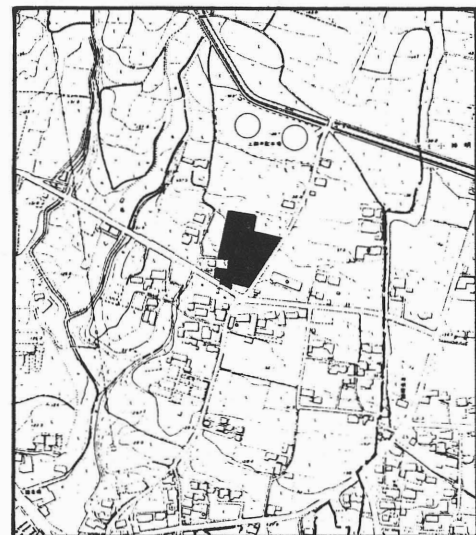
4,700㎡ 事務所

平成8年1月24日

### 調査の状況

開発予定地は、赤城山の南斜面末端にあり、周辺には多くの遺跡地が確認されている。特に、古墳時代後期の集落跡である南田之口遺跡（開発予定地の北側100m）とのつながりが予想されるため、試掘調査を実施した。

調査は、開発予定地にトレンチを4条設定して重機による掘り下げを行った。土層観察では、耕作土の下に、FP軽石混じりの黒褐色土層（部分的に堆積）、ソフトローム層、ハードローム層が見られた。ソフトローム層において遺構確認を行い、下面および断面の清掃・精査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。



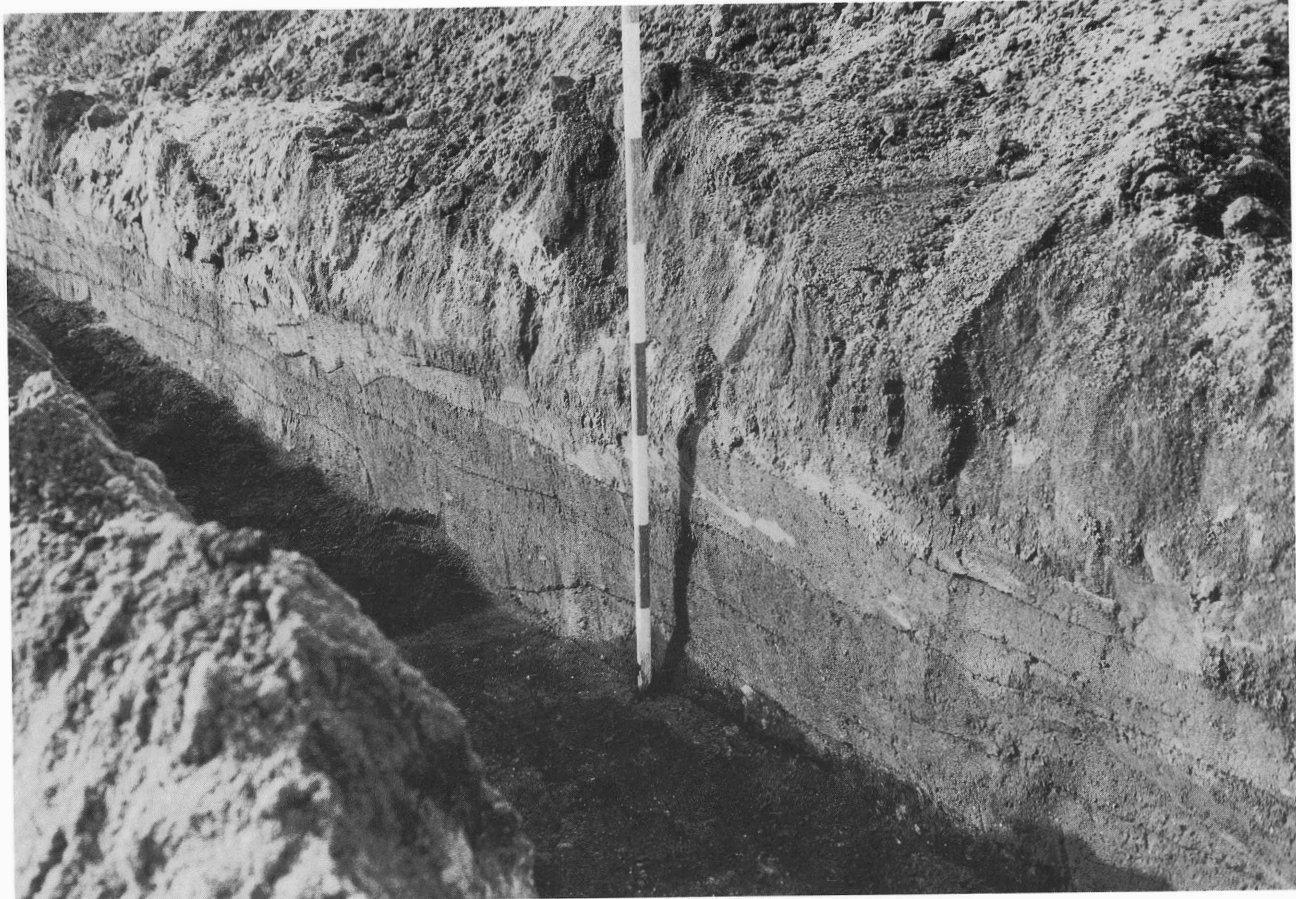
写真図版 1



6年度31号 鶴光路・亀里町



6年度32号 江木町

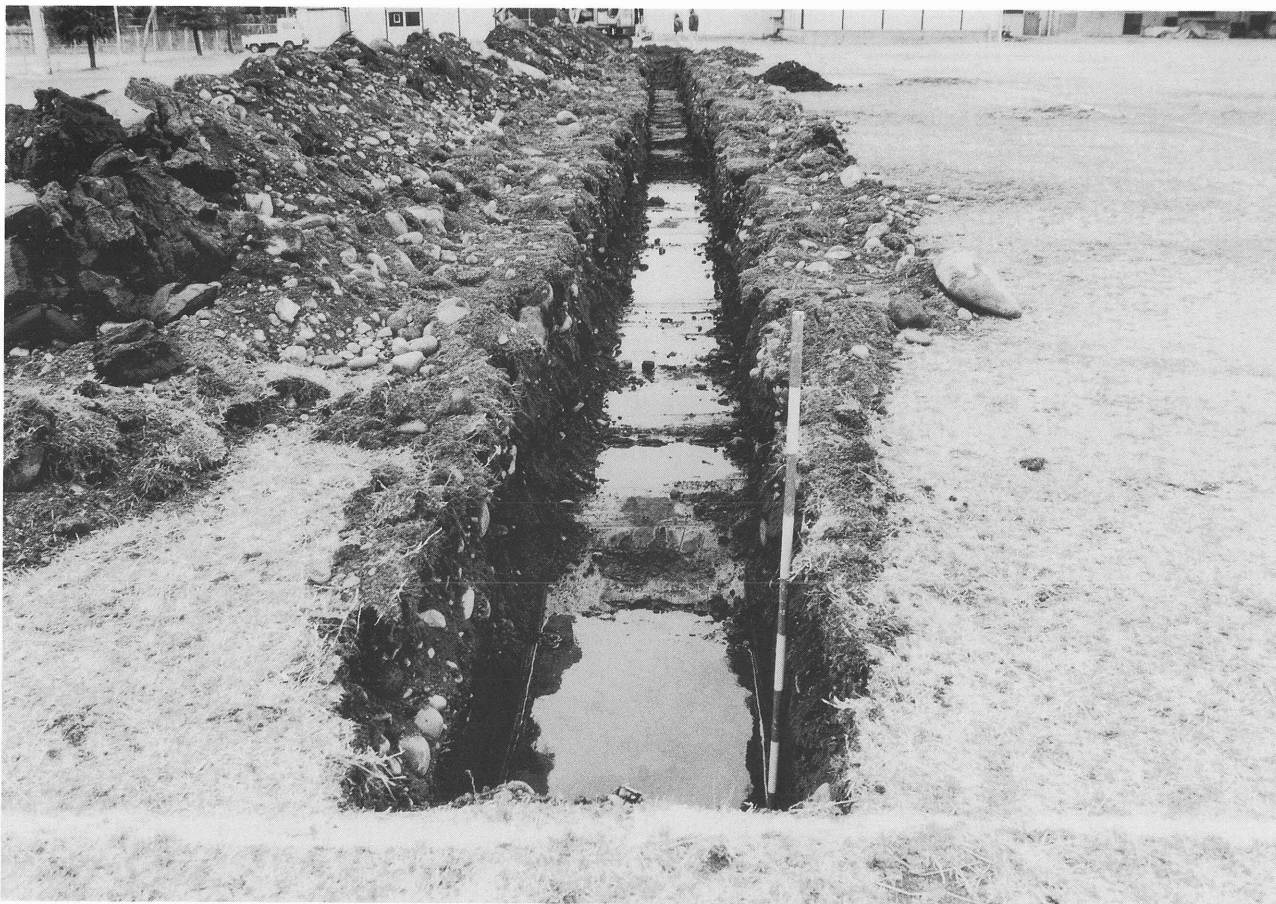


6年度33号 勝島町 (尼ヶ橋遺跡)



6年度35号 総社町

写真図版 3



6年度36号 上佐鳥町



6年度37号 山王町 (文珠山古墳)



1号 文京町（不二山古墳Ⅰ）



2号 文京町（不二山古墳Ⅱ）

写真図版 5



5号 青梨子町



6号 小坂子町





7号 大渡町 (王山古墳)



7号 大渡町 (王山古墳)

写真図版 7



12号 嶺町



13号 前箱田町 (稻荷遺跡)



14号 宮地町 (宮地中田遺跡)



15号 箱田町

写真図版 9



19号 六供町 (六供下堂木遺跡)



21号 小屋原町

---

平成7年度 市内遺跡発掘調査報告書

---

平成8年3月20日印刷

平成8年3月30日発行

発行 前橋市教育委員会文化財保護課

前橋市上泉町664-4

印刷 上毎印刷工業株式会社

前橋市天川大島町305-1

---



